

採点基準 英語

3

B 空所補充 (3点×5問)

設問 次の日本文に合う英文になるよう、それぞれの空所に適する 1 語を書きなさい。

(1) 今月末には、彼女は夫と知り合って 10 年になる。

At the end of this month, she () () () her husband for 10 years.

(2) このスーツケースは、その鞆と同じくらいの重さしかない。

This suitcase () () () than the bag.

(3) 体育祭は予定日に雨が降った場合には延期される。

The sports festival will be postponed () () () on the scheduled date.

(4) 以前は毎朝走っていたが、最近は走っていない。

I () () () every morning, but these days I don't.

(5) 話している人に注意を払うべきだ。

You () () () to the person speaking.

【基準】

- ・各完答
- ・大文字・小文字は不問。スペルミス・語形ミスは1箇所でもあれば不可(各-3点)
- ・①②などと番号を振られている箇所は**セットで用いられていなければ不可**。例えば、(1)の最初の空所を is としている場合、3つ目の空所は heavier のみ可 (more は不可)。
- ・(1)~(5)いずれも、空所を全て埋めることができ得点 3 点。(埋めていない箇所が1つでもあれば-3点)。

【解答】

(1)	will	have	known
(2)	① is ② weighs	no	① heavier ② more
(3)	if	① it ② it's	① rains ② rainy
(4)	used	to	run [jog]
(5)	should [must]	pay [give]	attention

C 20 点満点

【設問】

Write your answer in English to the following question in 70 to 90 words.

Which do you prefer, paper textbooks or digital textbooks? Give at least two reasons in your answer.

【解答例 1】

I prefer paper textbooks to digital textbooks. I have two reasons for this. First, I can remember what I have learned better when I use paper textbooks. This is because I can take notes easily compared to digital ones. Second, paper textbooks are better for the eyes. Digital textbooks emit blue light which can lead to eye strain and bad eyesight. In contrast, paper textbooks do not pose such problems, so I can study without worrying about my health. In conclusion, I like paper textbooks more than digital ones. (89 words)

【解答例 2】

I prefer digital textbooks to paper textbooks. I have two reasons for this. First, digital textbooks are easy to carry around. When using paper textbooks, I have to carry many books. However, by using digital ones, I can look at all the textbooks with one device. Second, it is convenient when I am looking for specific information. Digital textbooks generally have search functions, so I can find the information I want more quickly. For these reasons, I prefer digital textbooks to paper ones. (83 words)

1. 語数・英語の正しさ

a. 語数・段落数

<u>ミスの種類</u>	<u>減点数</u>
語数制限を満たしていない (= 69 語以下/91 語以上)	20

b. 英語の正しさ

<u>ミスの種類</u>	<u>減点数</u>
スペルミス	-1
可算名詞が 無冠詞 単数	-1
抽象名詞ともとれる名詞が 無冠詞	0

ミスの種類	減点数
a と the の不自然な使い分け	0
単複の誤り	-1
動詞の語形の誤り	-1
語句の誤り	-1

減点が配点を超える場合は 0 点。

2. 内容面

以下の設問指示を無視しているものは、英語の誤りとは別にそれぞれ該当の点数を減ずる

Which do you prefer, paper textbooks or digital textbooks? Give at least two reasons in your answer.

(紙の教科書とデジタル教科書ではどちらを好むか。解答の中に少なくとも2つの理由を書きなさい。)

ミスの種類	減点数	
意味不明 文法・語法の誤りとは別次元で、 文・節レベルで内容的に何を言っているのか伝わらない・論理不整合がある・文法点で引けない箇所	①単語レベルで意味不明	-1
	②句・節レベルで意味不明	-1
	③文レベルで意味不明	-1
構成・内容	④全く無関係な事柄について書いている	-20
	⑤意見表明とはいえない	-4
	⑥論点が質問内容から外れている	-6
	⑦文章構成不適切 先に自分の意見・立場をはっきりさせてから論じていないもの*	-6
	⑧立場を取った理由を説明できていない	-14

ミスの種類		減点数
	⑨立場を取った理由が一つしかない	-7
	⑩論理不整合がある(文単位)	-4
	⑪全体を一貫した論理不整合がある	-10
途中で終了している	⑫既定の語数は満たしているが途中で終わっている	0

減点が配点を超える場合は0点。ただし誤りの箇所の指摘は続ける(波線のみで減点数は不要)。

*理由や事例を述べてから、最後に意見・立場を示すような、通常の英語の論述展開(意見→根拠)から大きく逸脱しているもの

4

(2) 内容説明問題 (5点×2問)

〈設問指示〉下線部^(a)The question および^(b)even just 20 seconds could be the difference between life and death はそれぞれどのようなことを意味するのか、本文に即して 35 字程度の日本語で具体的に説明しなさい。句読点も字数に含めます。また、数字は 1 マスに 1 字入れること。

〈解答例〉①～⑤の番号は下表の部分との対応を表す。

(a) コスタリカンアノールはどのようにして 16 分以上も水中にいられるのかということ。(39 字)

(別解) 半水生のアノールはどのようにして非常に長い時間水中にいられるのかということ。(35 字)

(b) 20 秒長く水中に隠れることで捕食者が諦め、命が助かることもあること。(37 字)

【下線部・該当箇所】

(a)

①Some anole species are semi-aquatic, meaning they live near streams and dive under the water to escape from enemies. They ②can sink under the water for an unusually long time, more than 16 minutes. American biologist Lindsey Swierk was surprised to see this behavior in ①Costa Rican anoles.

(①一部のアノール類は半水生で、小川の近くに住み、敵から逃れるために水中に潜る。②彼らは 16 分を超える異常に長い時間、水中に沈むことができる。アメリカの生物学者リンジー・スウィアークは、①コスタリカンアノールのこのような行動を見て驚いた。)

(b)

In biology, even just 20 seconds could be the difference between life and death. A hungry bird might think that searching for ①an extra 20 seconds is ②not worth the energy and ③would prefer to look for food somewhere else.

(お腹を空かせた鳥は、①20 秒余分に探すのは②エネルギーに見合わないと考え、③別の場所で餌を探すことを好むかもしれない。)

【基準・配点】

- ・減点は、配点を超えない(他の部分まで減点は及ばない)ものとする。
- ・著しく意味が異なる限り、誤字・脱字は減点しない。
- ・要素が揃っていても、接続語句などの過不足により意味が異なる場合は、その項目は0点とする。
- ・以下に言及のない誤訳・ミス・漏れは1つマイナス1点を原則とするが、各部分の配点を超えてはならない。特記なく「誤訳」とある場合はマイナス1点。
- ・項目①~⑤に該当していない箇所を訳出しているも採点対象としない。誤訳しているも減点しない。
- ・解答欄をはみ出して解答しているもの(字数オーバー)は-1点(0点)とする。
- ・句読点等の表記法は不問。文末表現も不問。

(a)

箇所・配点	要素・盛り込むべき内容
① 2点	Costa Rican anoles 「コスタリカンアノールは」 (別解) Some anole species are semi-aquatic 「半水生のアノールは」
	○“They”について具体化していない「彼ら」は減点, また「アノール」としたのみのものも減点。(−1点) ○コスタリカンアノールを Costa Rican anoles と抜き出しているものも許容。 ○アノールは, 「アノーレ」など, 同等のことを言っていれば広く認める。
② 3点	can sink under the water for an unusually long time 「どうして非常に長い時間水中にいられるのかということ」 (別解) can sink under the water for ~ more than 16 minutes 「どのようにして16分以上も水中にいられるのかということ」
	○可能を示す can の訳し漏れは減点。(−1点) ○“unusually”は「異常に／例外的に／珍しいぐらい」など広く認める。 ○「こと」と終えていないものは減点。(−1点)

(b)

箇所・配点	要素・盛り込むべき内容
① 2点	an extra 20 seconds (20秒長く) → 「20秒長く水中に隠れることで」
	○“extra”は「余分に」など意味が通れば広く認める。 ○「隠れる」は「いる」など意味が通れば広く認める。 ○「水中に」の訳出の有無は許容。
② 1点	not worth the energy (エネルギーに見合わない) → 「捕食者が諦め」
	○「捕食者」は「(お腹を空かせた)鳥」としても許容。 ○「諦め」は「他の場所へ行き」など意味が通れば広く認める。
③ 2点	would prefer to look for food somewhere else (別の場所で餌を探すことを好むかもしれない) → 「命が助かることもあること」
	○下線部の主語が鳥であることをとらえられていないものは減点(−1点)。 ○「命が助かる」は「生き延びる」など意味が通れば広く認める。 ○「こと」と終えていないものは減点。(−1点)

(2) 内容説明問題 4点満点

〈設問指示〉下線部(a)の this が指している内容を説明しなさい。

〈解答例〉①～④の番号は下表の部分との対応を表す。

①親が②自分自身の母国語のみで③子供たちと話すようにするという④専門家の助言。

【下線部・該当箇所】

My parents did their best in raising me and my sisters to be bilingual children. ①They sought ④advice from a language education specialist and were told to ②only ③speak ②their own native languages ③to us.

(私の両親は、私と姉妹をバイリンガルの子供に育てるために最善を尽くした。①両親は④言語教育の専門家に助言を求め、③私たちには②自分の母国語しか③話さないようにと言われた。)

【基準・配点】

- ・減点は、配点を超えない(他の部分まで減点は及ばない)ものとする。
 - ・著しく意味が異なる限り、誤字・脱字は減点しない。
 - ・要素が揃っていても、接続語句などの過不足により意味が異なる場合は、その項目は0点とする。
 - ・以下に言及のない誤訳・ミス・漏れは1つ-1点を原則とするが、各部分の配点を超えてはならない。
- 特記なく「誤訳」とある場合は-1点。
- ・項目①～⑤に該当していない箇所を訳出しているも採点対象としない。誤訳しているも減点しない。
 - ・解答欄をはみ出して解答しているもの(字数オーバー)は-4点(0点)とする。
 - ・文末表現の不備は-1点とする。
 - ・句読点等の表記法は不問。

箇所・配点	要素・盛り込むべき内容
① 1点	They 「親が」
	■ 「They」は「彼らが」など代名詞の指す内容を明確にしていないものは不可（-1点）。
② 1点	only, their own native languages 「自分自身の母国語のみで」
	■ 「their own」は「親自身／私の両親自身／彼ら自身」なども許容。 ■ 「native language」は「母語／生まれ持った言語／ネイティブ言語」など広く認める。
③ 1点	speak, to us 「子供たちと話すようにする」
	■ “us”は「私たち」など代名詞の指す内容を明確にしていないものは不可（-1点）。 ■ “speak”の主語が①の They であることが認められないものは不可（-1点）。
④ 1点	advice from a language education specialist 「専門家の助言」
	■ “advice from a language education specialist”は「専門家からの助言」も許容。 ■ “specialist”は「スペシャリスト」も許容。 ■ 文末が「話すようにするという助言／～話すようにすること」のような形になっていないものは不可（-1点）。 ■ “advice”は「アドバイス／勧告／意見」など広く認める。 ■ 必須単語は“advice”, “specialist”。 ■ “language”, “education”の有無は不問。

〈設問指示〉 下線部(b)を和訳しなさい。

〈解答例〉 ①～④の番号は下表の部分との対応を表す。

①私の両親が手本にしたやり方は、②バイリンガルの子供を育てる③最も良い方法である④とされている。

(3) 英文和訳問題 5点満点

【和訳箇所】

④It is said that ①the model my parents followed ③is the best way of ②raising bilingual children:

【基準・配点】

・減点は、配点を超えない(他の部分まで減点は及ばない)ものとする。

- ・著しく意味が異なる限り，誤字・脱字は減点しない。
- ・要素が揃っていても，接続語句などの過不足により意味が異なる場合は，その項目は0点とする。
- ・以下に言及のない誤訳・ミス・漏れは1つ-1点を原則とするが，各部分の配点を超えてはならない。

特記なく「誤訳」とある場合は-1点。

- ・項目①~⑤に該当していない箇所を訳出しているも採点対象としない。誤訳しているも減点しない。
- ・解答欄をはみ出して解答しているもの（字数オーバー）は-5点（0点）とする。
- ・文末表現の不備は-1点とする。
- ・句読点等の表記法は不問。

箇所・配点	要素・盛り込むべき内容
① 2点	the model my parents followed 「私の両親が手本にしたやり方は」
	<ul style="list-style-type: none"> ・“the model my parents followed”を，“the model”が先行詞の関係代名詞を用いた構文以外で訳していると判断できるものは不可（-2点）。 ・“the model”は「モデル／模範／ひな型」に類する表現なら広く許容。「模型／塑像」など物理的実体の model として訳したものは減点（-1点）。 ・“followed”は「従った／ならった／守った／まねた」などは許容。 ・“followed”は「フォローした／追いかけた」は減点（-1点）。
② 1点	raising bilingual children 「バイリンガルの子供を育てる」
	<ul style="list-style-type: none"> ・“raise”を「育てる」以外に訳しているものは減点（-1点）。 ・“bilingual”を「多言語話者」などと訳したものは許容。
③ 1点	is the best way of 「最も良い方法である」
	<ul style="list-style-type: none"> ・“way”は「方法」に類する表現であれば広く認める。「道」に類する表現で訳したものは減点（-1点）。 ・“way of”は「するための方法」も許容。
④ 1点	It is said that 「～とされている。」
	<ul style="list-style-type: none"> ・It is said that 「～とされている，～とみなされている」も許容。

- ・同等のことを言っていれば表現は広く認める。
- ・構造を理解した上での意識は認める。

(6) 内容説明問題 6点満点

〈設問指示〉 下線部(d)の the “time and place” strategy について,本文中に出てくる具体例を含めて 55 字以内の日本語で説明しなさい。なお,句読点も字数に含めます。

〈解答例〉 ①～⑤の番号は下表の部分との対応を表す。

①平日と週末や,②食事中と外出時で③話す言語を変えるように,④特定の時間や場所と⑤それぞれの言語を結びつける戦略。(52 字)

【下線部・該当箇所】

“A different strategy could be to ③speak to your child in a different language ①each day of the week,” says Marian. This is sometimes referred to as (d)the “time and place” strategy among researchers and bilingual families, ⑤with each language connected with ④a specific time or place. For example, the whole family might be ③speaking one language ①on weekends, or ②during meals, ③and another language ①during the week, or ②when they go out.

(「別の戦略として,①1週間の中で曜日ごとに③ちがう言語で子供に話しかけるという方法が考えられる」とマリアンは言う。これは,研究者やバイリンガルの家族らの間で(d)時と場所戦略と呼ばれることがあるやり方であり,⑤それぞれの言語を④特定の時間や場所と⑤結びつけるという方法だ。たとえば,家族全員が①週末や②食事中は③ある言語を話し,①平日や②外出時にはそれとは③別の言語を話しているかもしれない。)

【基準・配点】

- ・減点は,配点を超えない(他の部分まで減点は及ばない)ものとする。
 - ・著しく意味が異ならない限り,誤字・脱字は減点しない。
 - ・要素が揃っていても, 接続語句などの過不足により意味が異なる場合は,その項目は0点とする。
 - ・以下に言及のない誤訳・ミス・漏れは1つ-1点を原則とするが,各部分の配点を超えてはならない。
- 特記なく「誤訳」とある場合は-1点。
- ・項目①～⑤に該当していない箇所を訳出しているも採点対象としない。誤訳しているも減点しない。
 - ・解答欄をはみ出して解答しているもの(字数オーバー)は-6点(0点)とする。
 - ・文末表現の不備は-1点とする。
 - ・句読点等の表記法は不問。

箇所・配点	要素・盛り込むべき内容
① 1点	<p>on weekends, during the week / (別解)each day of the week 「平日と週末や」 / (別解)「1週間の中で曜日ごとに」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 「on weekends」は「土日／週の終わり」など広く認める。 ■ 「during the week」を「週の間」など、「平日」としてとらえられていないものは不可(−1点)。 ■ “on weekends”, “during the week”に相当する表現が両方とも含まれていない場合は不可(−1点)。 ■ 「平日／週末」を並列・対比していることが認められないものは不可(−1点)。 ■ 「平日／週末」の順序は不問。 ■ (別解)下線部直前の文中の“each day of the week”を用いて「1週間の中で曜日ごとに／1週間のそれぞれの日で」などと表現した解答も許容。
② 1点	<p>during meals, when they go out 「食事中と外出時で」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 「during meals」は「食事の間／食卓」など広く認める。 ■ 「when they go out」は「出かけたとき, 外出先」など広く認める。 ■ “during meals”, “when they go out”に相当する表現が両方とも含まれていない場合は不可(−1点)。 ■ 「食事中／外出時」を並列・対比していることが認められないものは不可。(−1点)。 ■ 「食事中／外出時」の順序は不問。
③ 1点	<p>speaking one language, and another language / (別解)speak to your child in a different language 「話す言語を変えるように」 / (別解)「ちがう言語で子供に話しかける」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ “speaking one language, ~and another language”は「一つの言語を話し, ~もう一つの言語を話す／複数の言語を話す」などを許容。 ■ “another language”を”speaking”の目的語としてとらえられていないものは不可(−1点) ■ “speaking language”は「言語を使う／用いる」なども許容。 ■ (別解) 下線部直前の文中の“speak to your child in a different language”を用いて「ちがう言語で話す」などと表現した解答も許容。 ■ (別解)別解の場合, 必須単語は“speak”, ”in a different languages”. ”your child”の有無は不問。
④ 1点	<p>a specific time or place 「特定の時間や場所」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ “specific”は「具体的な／明確な」など広く認める。 ■ “place”は「空間／ところ」など広く認める。 ■ “time or place”を「時間や場所」と訳出せず, 「時間と場所」などと並列して表現したものも許容。
⑤ 2点	<p>with each language connected with 「とそれぞれの言語を結びつける戦略」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ “with each language connected with”が付帯状況の構文であることを理解し, ”language”を”connect”の目的語としてとらえられていないものは不可(−2点)。但し意識として同等のことを言っていれば広く認める。 ■ “connect”は「つなげる／関連づける／連想させる」など広く認める。「連結する／接続する」は減点(−1点)。 ■ 文末は「こと／方法／やり方」など広く認める。「～を結びつける」などのように体言止めになって

	いない場合は減点（-1点）。
--	----------------